

■ 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート ■

評価年度	令和元年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原市立古淵デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人 たけのうち福祉会
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市立高齢者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の介護を必要とする高齢者に対し、入浴、給食その他のサービスを提供することによって、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担を軽減し、もって高齢者の福祉の増進に関与するため。
施設概要	高齢者が自宅から通い、入浴、食事などの日常生活の世話や機能訓練を受けられる施設 所在地 相模原市南区古淵4-24-1 古淵住宅1階 構造 鉄骨鉄筋コンクリート構造 延床面積 504㎡
施設所管課	健康福祉局地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目（単位）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数合計（人）	5,501	5,251	4,920	4,382	4,148		
利用料金合計（円）			9,129,329	7,898,912	7,445,202		

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
D	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の達成度は69.2%であり、評価基準により、Dとする。 ニーズに合わせ一時的に土曜日開所を行ったものの、平日利用の相乗効果は見られなかったが、試み自体は評価できるため、今後も、ニーズに合わせた新たな取組や工夫をしていただきたい。 引き続き、利用者確保のための具体的な方法の検討、周知に努めていただきたい。

指標 1	
指標名（単位）	利用率（%）
指標式と指標の説明	年間利用者数 ÷ (1年間の営業日数 × 利用者定員数) ※利用者定員数に対する年間の利用割合

項目（単位）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値（%）	100.0	100.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値（%）	85.6	82.4	77.2	59.0	62.6		
達成度（%）	85.6	82.4	81.3	62.1	69.2		

※制度上、定員制限（25名）があり、実績値100%が最大値となる。

※令和元年度から実績値が100%となった際、評価Sとなるように達成度を調整するため1.05を乗じている。

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的に即して利用者のための活動を適切に実施していれば「○」、その中で、特に市立施設であるという特性を鑑み、地域住民や園児等の世代間交流の場を広く創出する事業で、定期的、継続的に実施している場合や多くの方々と交流する事業については、効果的かつ施設の活性化に寄与する取組として「◎」と評価する。 ・個人毎の趣味に応じたレクリエーションへの取組として、部活動制度の充実を積極的に行っている点が評価できる。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、主な社会貢献活動が中止となったが、台風19号で被災した小学校の全児童へ布マスクを作成する等、地域との関わりを大切にし、臨機応変な対応を行っている点も評価できる。 ・園児など、多世代との交流ができる事業は、介護予防の観点から良い刺激となるため、引き続き実施していただきたい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
なし			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
お花見機能訓練	4月	近隣の自治会館に咲いている桜を見ることを楽しみに歩いて見に行く。	○
菖蒲園歩行訓練	6月	相模原公園の菖蒲を見ながら歩行訓練をする。参加者34名	○
敬老会	9月	毎年同じ法人の園児がお祝いに来てくれ、一緒におやつを食べたり園児にプレゼントをもらったり、出し物を見たりしています。毎日違うボランティアさんの出し物を見たり、職員が歌を歌いながら職員と一緒に撮った笑顔の写真や普段の活動の様子をビデオにしてみています。職員からの手作りのプレゼントを渡します。参加者57名+保育園17名+家族5名	◎
スポーツ大会	10月	対戦型のスポーツやパン食い競争等を楽しみます。参加者49名	○
クリスマス会	12月	園児と一緒に簡単なクリスマスケーキ作りをしたりボランティアさんが来たりして楽しみます。参加者45名	◎
外食機能訓練	6月・10月・1月	回転寿司やレストラン等昼食やおやつを食べに行きます。メニューから食べたいものを自分で選んで会計を自分でします。社会的リハビリと歩行訓練を目的に実施しています。6月29名、10月36名、1月35名	○
買い物機能訓練	11月・2月	イオンやイトーヨーカドーへ買い物へ行きます。かつて自分が行っていたことをもう一度思い出しながらたくさんの情報や刺激を受けて頂きます。ご自分で選び支払います。社会的リハビリと楽しみながら歩行距離を延ばす目的で実施しています。11月26名、2月24名	○

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
C	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値(市が実施した平成28年度の高齢者等実態調査における居宅サービス利用者満足度)である89.8%に対し、実績値が79.4%であり、達成度が88.4%となるため、評価基準により、Cとする。 ・満足度調査項目において、「サービス計画書の説明」や「ご本人への配慮」等、過年度に比べ低下傾向の項目があるため原因を究明し、改善していただきたい。 ・「利用料金の説明」においては、特に低い評価が続いているため、早急に改善をしていただきたい。 ・回答率及び調査件数が未だ低いため、既存の枠にとらわれず、調査の新たな方法を工夫していただきたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	かながわサービス振興会の無記名アンケートを10～11月に30部配布
目標値の基準	平成28年度に実施した本市の高齢者等実態調査における、デイサービスを含む居宅サービス利用者の満足度。

項目 (単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (%)	77.0	89.8	89.8	89.8	89.8		
実績値 (%)	77.8	84.9	84.5	78.1	79.4		
達成度 (%)	101.0	94.5	94.1	87.0	88.4		

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
B	団体本体の経営状況においては特段の課題はないが、全体の支出が収入を上回っているため、Bと評価する。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
収入 (a)		56,480	49,381	45,629	
	利用料金収入	9,129	7,899	7,445	
	事業収入	46,906	41,177	37,532	
	その他の収入	445	305	652	
支出 (b)		50,591	48,851	45,763	
	人件費	41,114	39,928	36,114	
	施設管理経費	6,091	6,807	7,674	
	事業管理経費	3,386	2,116	1,975	
本体事業収支	【(a)-(b)】(c)	5,889	530	-134	
自主事業収入	(d)	0	0	0	
自主事業支出	(e)	0	0	0	
自主事業収支	【(d)-(e)】(f)	0	0	0	
事業活動収支	【(c)+(f)】(g)	5,889	530	-134	
その他収入	(h)	0	0	57	
その他支出	(i)	2,412	1,880	330	
全体収支	【(g)+(h)-(i)】	3,477	-1,350	-407	
備考					
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。				

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和2年10月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

31年度は契約者数を増やすという目標への取り組みとして、年4回の新聞の発行、パンフレット・ホームページの一新とブログの更新を行った。ご家族とケアマネジャーへの活動報告と共に市民の方々が理解しやすいような形で情報提供できるよう定期的に更新をしている。しかしながら30年度夏以降在宅困難者が次々と出たことにより利用者数が激減した状況から始まり、その後も入院や小規模多機能施設への移動等により、中止者の数に新規利用者数が追いつかず苦しい経営状況となった。また、要介護3以上の利用者の割合も前年度に比べ低くなってしまった。

一方で、ホームページの一新とブログの更新については、徐々に閲覧数が伸びてきている。今後の新規契約者増加への将来性があるため、引き続き取り組んでいきたい。

また、利用者の満足度向上を目指し、利用者の家族やケアマネジャーとの連絡や職員同士の情報共有を密に行い、利用者家族から「安心して利用できる」と好評をいただいております。安心して家族を任せられる施設であり続けるために努力を続けていく。

認知症プログラムや季節ごとのプログラム、屋外歩行訓練などの機能訓練、趣味活動等、取組は多岐にわたるが、利用者のやりたいこと得意なことが出来る利用者一人ひとりに寄り添ったサービスを行えるように引き続き取り組んでいく。

9 所管課意見

- ・昨年度に比べ、利用率の実績値が増加したことは評価できるが、目標値には達していないため、更なる利用者確保に向けた取組や創意工夫によるサービスの充実を引き続き図っていただきたい。
- ・満足度調査において、満足度が例年低い項目や下降傾向にある項目の原因を追求し、改善していただきたい。
- ・市立施設として地域との交流はとて重要であることから、今後も引き続き、地域と連携した運営を行っていただきたい。

10 選考委員会意見

- ・年間利用者数が年々低下傾向にあり、「3 成果指標の達成度」において、目標値に比べ、実績値が大きく乖離しているため、利用者の確保に早急に取り組んでいただきたい。
- ・新聞・WEB展開など、施設の取組のPRに積極的に努めている点は評価できる。施設の取組を積極的にPRすることは、新規利用者の増加や利用者の家族への安心感につながるため、引き続き取り組んでいただきたい。
- ・利用者満足度調査において、昨年度より評価が改善した設問があり、職員の笑顔や継続利用意向等、接遇面での満足度が高い点は評価できる。一方で、評価が例年低い設問や過年度に比べ、低下傾向の設問もあるため、原因を究明し、改善していただきたい。

